

県道前橋館林線（東本町工区） 電線共同溝事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現 施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：伊勢崎市本町～東本町
- 路線名：主要地方道 前橋館林線
- 事業内容：全体延長 900m
管路整備延長1,800m
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：令和5年度～令和10年度（11年間）
- 現在の交通量（H27）：17,408台/日（自動車）
：107人/日（歩行者）
：361台/日（自転車）
- 緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

・災害時におけるライフラインを確保してほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
電柱の本数	65本	0本
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

実施前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。

実施前の状況



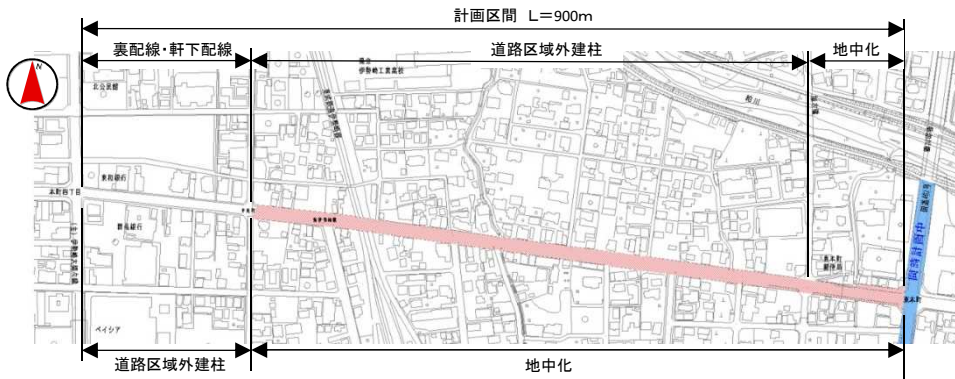
実施後

- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。

完成後イメージ



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は道路詳細設計を行います。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ● ■ ● 事業完了